

告辞

本日ここに沼津市長 頼重秀一様、三島市長 豊岡武士様、長泉町長 池田修様、清水町長 山本博保様をはじめ多数のご来賓の皆さま、保護者の皆さま、および関係者の皆様のご隣席をいただき、沼津工業高等専門学校平成 30 年度卒業証書、修了証書、学位記授与式を挙げていただけますことは、沼津高専関係者にとって、この上ない喜びであります。

本科を卒業される 203 名の皆さん、専攻科を修了される 27 名の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんは、日本に最初にできた歴史ある沼津高専の卒業生、修了生の仲間入りをするようになります。この日を迎えられるのは、皆さんの努力の賜物ですが、それとともに皆さんを産み、これまで育て、励まし続けてくれた保護者の方、そして先生方をはじめ、周囲への感謝を忘れないで下さい。

本科を卒業、専攻科を修了される皆さんは、既に社会で活躍できる高い専門性と、実験実習で培われた技術力とを併せ持っています。それら専門能力と技術力は他の追従を許さないものがあります。今年度の本科卒業生への求人倍率が 30 倍を超えたことも、そのことを如実に表しています。卒業生、修了生の皆さんは、沼津高専に学び、沼津高専を卒業、修了したことを誇りに思ってください。

本科を卒業される方の約半数、専攻科を修了される方の約 6 割は、4 月から社会人として主に企業に就職されます。入社後も、自身の専門や技術を磨くことを怠らないで下さい。とりわけ技術や科学は日進月歩です。常にその先頭に立ち、それらの進歩を牽引できる実力を持ち続けられるようにして下さい。技術者にとっては、毎日、そして生涯が勉強だという事を忘れないで下さい。

また本科を卒業される方の約半数、専攻科を修了される方の約 4 割は本校の専攻科や大学、大学院に進んで勉学を続けられます。勉学を続けることは、今よりも年齢を重ねることになります。重ねた年齢以上に自らの能力を磨き、向上できるように、努力を続けて下さい。学歴が高くなるほど、ライバルは強力になり、競争が激しくなります。その競争に耐え、勝ち抜ける力を身につけて下さい。

今、日本の探査機「はやぶさ 2」が、小惑星「りゅうぐう」の調査を行っています。修理や調整ができない、はるか彼方の宇宙空間で、確実にミッションをこなしている「はやぶさ 2」は、大企業だけでなく、多くの町工場と言われる中小企業の技術で支えられています。日本の製造業の凋落が伝えられていますが、この「はやぶさ 2」の活躍は、日本の技術がいまなお世界のトップにあることを示しています。

「はやぶさ 2」のプロジェクトには、多数の高専出身者も関わっています。2020 年には 10 校の高専が連携して開発する超小型衛星 KOSEN-1 が JAXA のイプシロンロケットで打ち上げられる予定です。宇宙開発以外の様々な分野でも、高専出身者が技術の最先端で活躍しています。本日卒業、修了される皆さんにも最先端で活躍できる機会が待っているのです。技術者は本当にすばらしい職業だと思います。

皆さんは本校で高い専門能力を身につけられました。しかし技術に自信がある、実力があるからといっても、決して奢らないで下さい。技術者である前に、社会人であり、そして社会人の前に一人の人間です。常に謙虚さを失うことなく、本校の教育理念である「ひとがらのよい技術者」となって、「世の期待に応えられる」、優しさの溢れる人間味豊かな技術者を目指して下さい。

就職される方、進学される方を問わず、皆さんはこれからも勉強を続けることになります。読み書きそろばんに代表されるような、知識や機械的な問題解決能力に加えて、自らが問題や課題を見出し、自分なりの解決策を考え、実行できる能力を身につけて下さい。どんなことでも今から努力さえすれば、達成できないことはほとんど無い、そのような気概で頑張ってください。

本日は4名の地元市長、町長様が隣席されています。地元がいかに皆さんに期待しているか、その表れでもあります。日本、そして世界で活躍されることが多くなる皆さんですが、時にはこれまで皆さんを育ててくれた、この静岡県東部地区のことを思い出し、そして機会があればこの地域の発展にも寄与して下さい。皆さんには常に社会から大きな期待が寄せられていることを自覚し、常に向上する努力を続けて下さい。

世界は情勢が目まぐるしく変化する、激動の時代を迎えています。これまで世界をリードしてきた有力企業ですら、生き残るのに必死です。そのような時代、頼りになるのは身につけた実力、技術力です。それらは自らの自信の源であり、一生涯なくなることの無い財産です。実力にさらに磨きをかけ、社会に役立ち、社会から必要とされる技術者になって下さい。

本校で過ごされた5年間、7年間は、皆さんの人生で最も輝いている時間です。その大切な時間を皆さんと共に過ごせことを、私たちは誇りに思います。卒業・修了後も成長を続ける皆さんは、いつの日か指導を受けた先生に追いつき、そして追い越すことでしょう。教え子が自分を超えて行く、教育に携わる者にとってこれ以上の喜びはありません。

本日沼津高専を巣立って行く皆さんが、社会で大いに活躍されることを期待して、私の祝辞とします。

平成 31 年 3 月 21 日

沼津工業高等専門学校長 藤本 晶